

## 事業報告書 (No. 29)

1 支援団体名	NPO法人 九州流域連携会議
2 事業名称	第7回 九州「川」のワークショップin別府
3 実施日時	平成19年12月1日～2日
4 実施場所	別府市北石垣82 別府大学別府キャンパス
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>(1日目・12月1日)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>主催、地元開催地挨拶</li> <li>全体プレゼンテーション 九州の各流域や地域から推薦された24団体が3分間の限られた時間の中で、活動を発表した。全体プレゼンテーションの中間でアジア太平洋水サミットを記念して、アジア太平洋からの留学生が自国の水事情を報告し、日本の学生も含めてディスカッションを行った。</li> </ol> <p>(2日目・12月2日)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ポスターセッション アジア太平洋水サミット会場にも展示されたパネルを使つてのポスターセッション。フェイスtoフェイスの議論が行われた。</li> <li>テーマ別ミニ討論会(6分科会)</li> <li>全体討論会 島谷総合コーディネーターの進行で、各分科会の報告とワークショップを通して見いだせたキーワードを検討した。</li> </ol>
	<p>(実施事業効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア太平洋水サミット記念大会ということでアジア太平洋地域からの学生の発表も交えたりしながら国際色豊かな大会となった。</li> <li>・流域からの推薦団体24団体に絞つたことで、九州全域からの参加と時間的余裕ができたため、討論会の時間を十分に取ることができた。</li> <li>・委員長が環境歴史学の先生だったため、これまでの川を見る視点に歴史的環境を含めてみることもできた。</li> </ul>
6 参加内訳	総人数 (延べ人数) 800名
	(1)主催者参加 96名
	(2)日本人参加((1)を除く) 644名
	(3)外国人参加((1)を除く) 60名
7 今後の方針	<p>次年度は、長崎での開催が会場が決まった。これで九州を1周する事となり、新たな展開に向けた議論が始まろうとしている。</p> <p>川守活動の発表の場としてのワークショップの継続の声は大きく、発表の場を残しつつ、川と人の関係を検討していく場を設けていきたい。</p>

全体プレゼンテーション



アジア太平洋からの留学生の発表

